

Oxbridge 研修報告書

山口 祐平

●第四回 Oxbridge 研修に参加するまでの過程

約一年前ごろの私、つまり前橋高校に入学する前には既にこの Oxbridge 研修の存在について知っていて、興味があった。ただ、その内容もほとんど知らずに、漠然と行ってみたいと思っていた。そんな中で、ちょうど一年前、先輩方の第三回 Oxbridge 研修報告会に参加させていただき、報告書もいただいた。その報告書から、先輩方が研修から大きな感銘を受けていることが見受けられたので、この研修に参加したいとより強く思ったのである。

●研修の内容

この Oxbridge 研修の八日間で行われることは大きく分けて五つに分けられる。

クリス先生のレッスン、日本人お二人のレクチャー、現地学生との交流、プレゼンテーション、観光の五つである。

○クリス先生のレッスン

クリス先生には、私たちが Oxford に滞在した五日間のうち四日間レッスンをして頂いた。その内容は、ディベートについてやイギリスの政治やスポーツ、食べ物やお金などの文化に関することやイギリスの教育制度について、また英字新聞についてなどであった。

クリス先生によるレッスンは午後七時半から午後九時半までの二時間であることが多く、生徒はとても内容の濃い一日の最後にレッスンを迎えるのでとても疲れていたが、クリス先生のレッスンはそれまで私たちの知らなかった事を知ることが出来てとても興味深かった。特に英語を話すときの注意することはアクセントだ、ということはこれまであまり強調して言われていなかったので印象に残っている。

また、クリス先生のレッスンは私たちの実践の場面が多かったので、私たちも楽しむことが出来た。

○日本人お二人のレクチャー

紅林さんと岡本さんのお二人に講演をして頂いた。先に行って頂いたのは紅林さんだ。紅林さんは実際に留学された方なので、留学の意義とその選択をした理由を聞くことが出来た。また、英語学習に関する重要なことを教えて頂いた。中でも“自分が辛いと思うところに身を置く”という言葉はいつも楽しってしまう私にとって欠けているところであると思った。岡本さんには、現代社会に生きる私たちにとって重要なことを教えて頂いた。講演の中で一番強く感じたことは、“色々なことに対して沢山考えることが重要だ”ということだ。ただ、考える前提として多くのことに関する知識が必要だということも教えて頂いたので、今、私たちはより多くの知識を蓄えることが大事なのだろうと感じた。

さらに、お二人は同じ事も言っていた。それは“一つ夢中になることを作れ”ということだ。

このことは何も突出したものがない私にとって一番必要なことだ、と気づいた。



○現地学生との交流

RA の三人は私たちが Oxford に着いてから離れるまでずっと一緒に行動してくれて、移動中などに会話をしてくれた。五日間という短い間だったが、積極的に会話して多くのことを知ることが出来た。他には、Oxford 大学に通っている日本人とドイツ人の方々にお話を伺えた。今、まさに留学中の生徒さんたちに大学生活のことを聞くことが出来、貴重な時間であった。

○プレゼンテーション

今回の研修では、四つの班に分かれてプレゼンテーションを行った。日本である程度作っていき、現地で手直しをして練習した。その時もクリス先生に確認して頂いた。

さらにプレゼンテーションの仕方のレッスンもして頂いた。そのおかげもあり、クリス先生や RA の三人の前での発表だったが、どの班もしっかりと発表できた。高校ではプレゼンテーションをやる機会はあまりないので緊張もしたが、社会に出た後はこのような機会もあると思うので良い経験になった。

○観光

私たちは観光を Oxford と Cambridge と London で行った。Oxford は RA に案内してもらい、古い建物が並ぶ街並みは素晴らしかった。Cambridge では大学のサイエンスフェスティバルを訪れた。サイエンスフェスティバルの中でも心理学の分野に行き、直接ケンブリッジ生の説明を聞いた。ゲームのような催し物も行って楽しむことが出来た。London では、日本でも有名なバッキンガム宮殿や大英博物館などを見学した。London を回る時には日本人のガイドさんが私たちについてくれて、博物館内の展示品の説明をして頂いたおかげでそれぞれを理解することが出来た。



Oxford と London で見学した博物館には日本にいると見ることのできない世界中の歴史的な展示物があって面白かった。

●まとめ

私はこの研修において、イギリスで体験したことはすべて自分が変わるきっかけとなるような貴重な体験であったように思う。しかしそれらは単なるきっかけであるので“生かすも殺すもこれからの自分次第だ”というようにも思う。現地で学んだことは沢山あるが、それらを忘れてしまい、実生活に活かさなければ意味がなくなってしまうように感じている。

また、この研修の最も大きなテーマは生き様研修ではあるが、イギリスで八日間過ごすこの研修は自分にとって語学研修にも異文化理解にもなった。

実際に Oxbridge 研修に参加してみて、この研修は貴重な体験ができる素晴らしいものだということを再認識したので次回には多くの生徒に参加してもらいたい。

最後になりますがこの研修に行かせてくれた両親と学校、引率して下さった加藤先生、松井さんをはじめとする ISA の皆さんありがとうございました。